

ひがしどおり 議会だより

No. 6 2



♪ なかよし親子

◆12月定例会のあらまし②

◆委員会活動⑤～⑥

◆主な議案の審議結果②

◆議会の活動⑥

◆一般質問③～⑤

第4回定例会



平成29年12月第4回定例会が12月4日開会し12日までの9日間の会期で開かれました。

定例会には、村長より、報告案件2件、条例改正案件5件、平成29年度補正予算案件6件など、計16件の提出があり、審議の結果、全議案が原案どおり可決・承認されました。

また、議員発議による意見書2件の提出を決定しました。

なお、今定例会においては、1名の議員による一般質問がありました。

※水道事業会計については、収益的支出予算である。

会計名(歳出)	既決予算(千円)	補正予算(千円)	補正後(千円)
一般会計	7,954,000	△35,900	7,918,100
介護保険特別会計	848,537	18,303	866,840
下水道事業特別会計	262,680	△7,530	255,150
水道事業会計	280,697	700	281,397

主な議案の審議結果

一般会計補正予算の歳出は、衆議院議員の総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に要する経費を専決処分したことによる増額補正及び総務費ではオフサイトセンター管理用備品購入費用、コミュニケーション援助事業助成金を減額、民生費は、障害者自立支援給付費、介護保険特別会計繰出金を増額、衛生費は下水道事業特別会計繰出金を追加、一般廃棄物収集運搬事業、海岸漂着物処理事業費を減額した。

介護保険特別会計補正予算については、介護給付費及びシステム改修に係る経費を増額し、地域支援事業に係る経費を減額した。

下水道事業特別会計補正予算については、浄化センター管理委託費の確定分について減額した。

なお、人事院及び青森県人事委員会の勧告による給与改定に係る各会計予算が追加提案され、原案どおり可決された。

★条例・規約の改正等

東通村南地区製氷センターの新設により、関連する条例から旧施設を除外するための条例の一部改正が承認された。

また、教育委員会の事務点検及び評価に関する報告がなされた。

その他、村道岩屋線の認定の他、各規約・協定の一部変更が承認された。

※会期及び議事日程案並びに陳情書の取扱いについて報告する、相内議会運営委員長



相内議会運営委員長

★陳情書

本定例会までに、次のとおり陳情書1件が受理され、所管の委員会へ付託されました。

○陳情の趣旨

「若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情」

全日本年金者組合

青森県本部

執行委員長 千代谷邦弘

一般質問とは

議員が、予め通告し、行政全般に亘る報告や、説明を求めたり、質問することで、定例会に於いて行われます。

今定例会においては、1名の議員が一般質問を行いました。

一般質問



村政を問う

【質問】 田村智和 議員
東通原子力発電所の運転再開及び工事再開時期の不透明な状況下における、地域経済の停滞と行財政運営の懸念について
東日本大震災以降、東通原子力発電所東北1号機の稼働停止及び東京1号機の本格工事中断により、村は危機的な経済情勢である。2013年の新聞記事に、東北電力青森支店によると、東通原発1号機が営業運転を始めた2005年12月以降、地元雇用や日用品の購入など地元企業を活用した実績は、2009年度末



時点で、約百億円にのぼり、地元経済に与える影響の大きさが伺えるとなりました。しかし、東通商工事業協同組合では、組合設立からの年間最高売上高は7億2千万円を計上していましたが運転停止後の現在は、3億8千万円まで落ち込んでおり、また組合員数も減少していると聞き及んでいます。更に行政・議会・商工会との交流会の折、川村商工会長の挨拶では、現在の商工業を取り巻く環境はとても厳しく、死活問題となると話されていると苦しい胸の内を話されていました。

百億円 of 経済効果は地元に対し本当にあったのでしょうか。このようなことから、「第1点目として、村長には停滞している我が村の地域経済に対し、どのような支援策を講ずるつもりなのか」お聞かせ頂きたい。

次に、村長の平成29年度の新年に当たってのご挨拶の中で「東通原子力発電所の運転再開と工事再開の時期が明確となっておらず、非常に厳しい経済環境、行財政状況が続きますが私としては、今この難局を乗り越え、将来の東通村の基盤をしっかりとしたものを整え将来にわたって村民が東通村に誇りを持って頂くよう、皆様と共に行政を進めて行かなければならない」とありました。同じく村政運営の所信には、「大変厳しい現状を乗り越え、村政が引き続き安定的に発展するよう運営して参ります」と述べられており、「第2点目の質問として、原子力発電所が停止しているこのような不透明な状況下を村として、どう乗り越えるおつもりなのか」お聞かせ願いたい。

村長には、村民が納得できる、発展・継続のあご答弁をお願いする。

【答弁】 越善村長
第1点目の、「停滞している地域経済に対し、村としてどのような支援策を講ずるつもりなのか」については、東北1号機の稼働停止並びに東京1号機の工事中断に伴う影響として、主に建設業等の第2次産業、卸売・小売業・運輸業・飲食店を含むサービス産業の第3次産業が直接的な売り上げ機会の損失を被り売上高や純利益の減少を受けており、そのことが雇用への影響や村民所得の減少に結びつき、地域経済が停滞する主因となっているものと認識しています。

村は、東北1号機の稼働停止と東京1号機の工事中断以降、6年半もの間、国や県、事業者からの財政支援も全くない中で、年々悪化していく財政状況を何とか堪えながらも、地域経済の疲弊を少しでも食い止めるべく

財政再建を留保して、地域経済の支援を最優先に実施して参りました。

また、平成26年度には小売業への直接的な支援として「プレミアム付き商品券発行事業」を実施して、消費を促し景気対策を実施しました。

また、平成27年度には「産業競争力強化法」の認定を受け、公益財団法人21青森産業総合支援センターや、商工会等のご協力を頂き、様々な操業支援策を展開しているところと

特に、平成27年10月に策定した「東通村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の下で、まちづくりや人口対策に関連した施策と共に、仕事の創生や地域経済の再生に重点的に取り組んできたところとあります。

本年度からは、県と連携した新たな創業融資制度を構築し、村民の起業を積極的に支援している

と共に、雇用対策として新たにハローワークの臨時出張所の併設、また廃校舎等の活用を通じて民間投資を新たに呼び込み雇用創出を直結する施策に取り組んでいます。

さらに、飲食業等への支援としてご当地グルメ「天然ヒラメ刺身重」の開発に際し、村内飲食店に参画頂き、売り上げの向上に寄与すると共に、観光客による特産品販売等にも波及させて、第1次産業等の生産物の売り上げにも貢献しているものと認識しています。

このような状況下で、経済の循環と雇用、そして何にもまして村民の皆様様の生活を何とか維持して行くため、村としては財政の限界まで可能な限りの経済対策に取組んで参りたいと存じます。併せて、公共事業の発注に際しては、可能な限り村内企業が受注できるように配慮すると共に、両電

力に對しましても、安全対策工事、維持工事等において、村内企業を優先するよう強く要請して参りますので、ご理解を賜りたい。



一般質問に答弁する越善村長

とから、平成31年度のできるだけ早い時期での工事完了を目指し、地域の理解を得ながら再稼働を目指すとしているが、具体的に見通しは示されていない。運転停止後6年半、再稼働までには更に2年以上を要することに

体から、早期の再稼働、早期の工事再開について強い要望がなされています。この状況を踏まえ、これまで議会と共に、国に對して2回、両電力に對しては4回、また、むつ市長・大間町長・六ヶ所村長と共に、国に對して7回の要望活動を行い、今年2月には経済産業大臣に對し、「核燃料サイクルの着実な推進」「事業や地域への経済活動に影響が生じないための新たな財源措置」など、地域の実情を踏まえ対応頂くよう強く要請して参りました。

また、東京電力1号機については、平成23年1月に国の許可がなされたが、福島事故が発生し本格工事の開始は見送られたままである。東京電力においては、「東通は重要な地点」であるとしているが、未だ工事再開の見通しは示されておらずこれまでの空白期間は、我が村の経済雇用等に對して、非常に大きな打撃を与え、大変厳しい状況が続いており、関係諸団

この要請を受け、9月には世耕経済産業大臣自ら下北へ来られ、現地の状況の確認と、立地4市町村長との意見交換を行ったところです。私からは大臣に對し、誘致決議からの永い歴史と、原子力政策の推進のためには、国・事業者・立地地域の信頼関係が必要不可欠であると改めて申し上げ、「東北電力1号機の早期の再稼働」「東京電力1号機の早期の工事再開」「新たな立法等に基づく財源措置」「エネルギー基本計画の見直しにおける新増設の明記」について述べさせて頂きました。



これに對し、大臣からは、「原子力政策はブレることなく立地自治体の信頼を裏切ることがないよう、しっかりと進める」、「新規制基準適合性審査は、事業者が安全確保を最優先に的確にできるよう指導していく」、「エネルギー基本計画は、頂い

このためにも、東通原発の早期の再稼働及び本格工事に繋がるよう、引



た意見を踏まえ、しっかりと議論していきたい」「引き続き地域振興にしっかりと取り組んでいく」との回答を頂きました。東通村は、昭和40年の村議会での原発誘致決議以来、国や事業者との信頼関係のもと、一貫して国策である原子力政策に対して協力してきたところであり、今後もより一層の安全性の確保を大前提として、原子力発電所との共生による村づくりを進めて行く所存であります。

引き続き村議会と一体となつて、立地村の立場から強く訴え続けて参りますので、一層のご理解を賜りたくお願いしたい。

【再質問】田村議員

原発の稼働停止と工事中断により、村財政は大きな影響を受けたまま現在に至っていますが、村長は村のトップとして現在起きていることは、村政運営に於いて想定外と思われているのか、お聞きかせ頂きたい。

【再答弁】越善村長

福島事故を思うとき現在の原発停止は、福島県民に対しては、充分配慮した措置と思うが、しかしながら、半世紀以上にわたり、国策に協力してきた東通村としては、現在の状況を国がしっかりと認識して頂き、1日も早い再稼働を願うということが、現在の私の気持ちである。

【再々質問】田村議員

「過去は知ることができるが変えられない、未来は知ることが出来ないが、変えられる」という言葉がありますが、私は我が村が原発を誘致した時から廃炉まで付き合う責任があると思っております。村長には、現在の不透明な再稼働と工事再開とを並行しながら、村をどう発展に導いて行くのかまた、原発推進に加えた具体的手法を村民に示す義務があると思う。

これから向かって新たな具体的な施策がありましたら、その考えをお聞かせ頂きたい。

【再々答弁】越善村長

村の将来のビジョンについては、東通村新総合開発計画が、村の見通しを示していることから、当該計画に沿って毎年見直し・修正を行い、ローリングしながら進んで参りたい。

委員会報告等

○教育民生常任委員会

「陳情内容」

若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情

「陳情者」

全日本年金者組合

青森県本部

執行委員長 千代谷邦弘

「審査結果」

採択

○産業建設常任委員会

「議員発議」

道路整備予算の拡充を
及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書（案）

※陳情及び意見書は議員発議として本会議で採決され、内閣総理大臣外関係先へ意見書として提出しました。



○東通原発特別委員会

開催日：10月3日

「案件」

東通原子力発電所の現状及び委員会活動の予定について

「会議の経過」

委員会の冒頭、小笠原原発特別委員長から、会議に至った経緯と、協議案件の概要についての説明がなされ、審議に入りました。以下、審議内容について、ご報告致します。

東日本大震災以降、東通原子力発電所の運転停止及び本格工事中断により我が村は危機的経済情勢にあります。

このことを踏まえ、村長はじめ、議長、また当委員会においても、これまで関係要路へ村の危機的状況を訴え、早期の運転・工事再開への要望活動を行って参りましたが

東通原発の再開は未だ見通せない状況にあります。このことから、当委員会として、改めて今後どのように対処すかを委員の皆様と共に検討するため招集した旨、委員長から説明がなされた。



原発特別委員会

この後、村長からは、挨拶の中で、これまでに於ける国への要請状況等の報告がなされ、続いて東北電力(株)執行役員・東通原子力発電所金澤所長東京電力HD(株)東通原子力建設所新井所長から現状についての説明がなされました。

委員からは、様々な質問、意見がなされ、その

都度両電力から説明を受け、一点目の案件である東通原発の現状ついてを終了しました。

次に二点目の、委員会活動の予定については、東北1号機の安全対策工事及び重要施設直下の断層の状況について、現地視察することとし、11月2日に議員全員を対象に実施されました。

また、関係要路への要請活動の実施については平成30年の年明けの早い時期を目途に、東北1号機の早期の再稼働、東京1号機の早期の本格工事再開を求める要請活動案が了承され、委員会を開会しました。

議会の活動

山口県上関町議会視察

10月26日、山口県上関町議会の一行が、東通村の原子力政策等について、行政視察のため、来村しました。

当日は、はじめに村長から、原発誘致決議以来の経緯と各種施策等についての説明を受け、続いて村議会を訪問し、議会の活動・対策等に関して、丹内議長・小笠原原発特別委員長と対談しました。

知事を囲む行政懇談会

11月7日、青森市において、県知事を囲む行政懇談会が開催され、下北郡議長会を代表し、丹内議長から「下北地域の国道整備の促進について」を要望事項として発表しました。

発表する丹内議長



国會議員との交流会

11月21日、全国町村会館において、県町村議長会と青森県選出国會議員

との交流会が開催され村議会からは、丹内議長が出席しました。

議長からは、各會議員へ、村の現状を説明し、東通原発の早期の再稼働・工事再開について協力を頂くようお願いしました。

津島淳代議員と



木村次郎代議員と



村自治功労者表彰式



川村 隆 副議長



伊勢田 勉 議員

11月8日、東通村自治功労者表彰式が行われました。村議会からは川村副議長と伊勢田議員が授賞されました。おめでとうございます。

==== 編集後記 =====

議会だより62号が、皆様のお手元に届く頃には、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。今回の議会だよりは、12月定例会における補正予算等審議案件、一般質問、また委員会活動等の報告を主に掲載しました。

本年も、客観的で、分りやすい議会だよりの作成に心掛けて参ります。今回の議会だよりの作成は、教育民生常任委員会が担当しました。

議会の傍聴
今定例会に於ける傍聴者は、41名でした。傍聴は、村政と議会を知る良い機会です。あなたも、傍聴してみても、いかがですか。